

## 8-11 2013年4月13日の淡路島付近の地震の震源域付近の地質

### Geology of the epicentral area of the earthquake in Awaji Island on April 13, 2013

産業技術総合研究所  
Geological Survey of Japan AIST

2013年4月13日の早朝5時33分に、兵庫県淡路島付近を震源としたマグニチュード6.3の地震が発生した。地震調査委員会によれば、この地震のメカニズムは東西圧縮の逆断層型とされている。

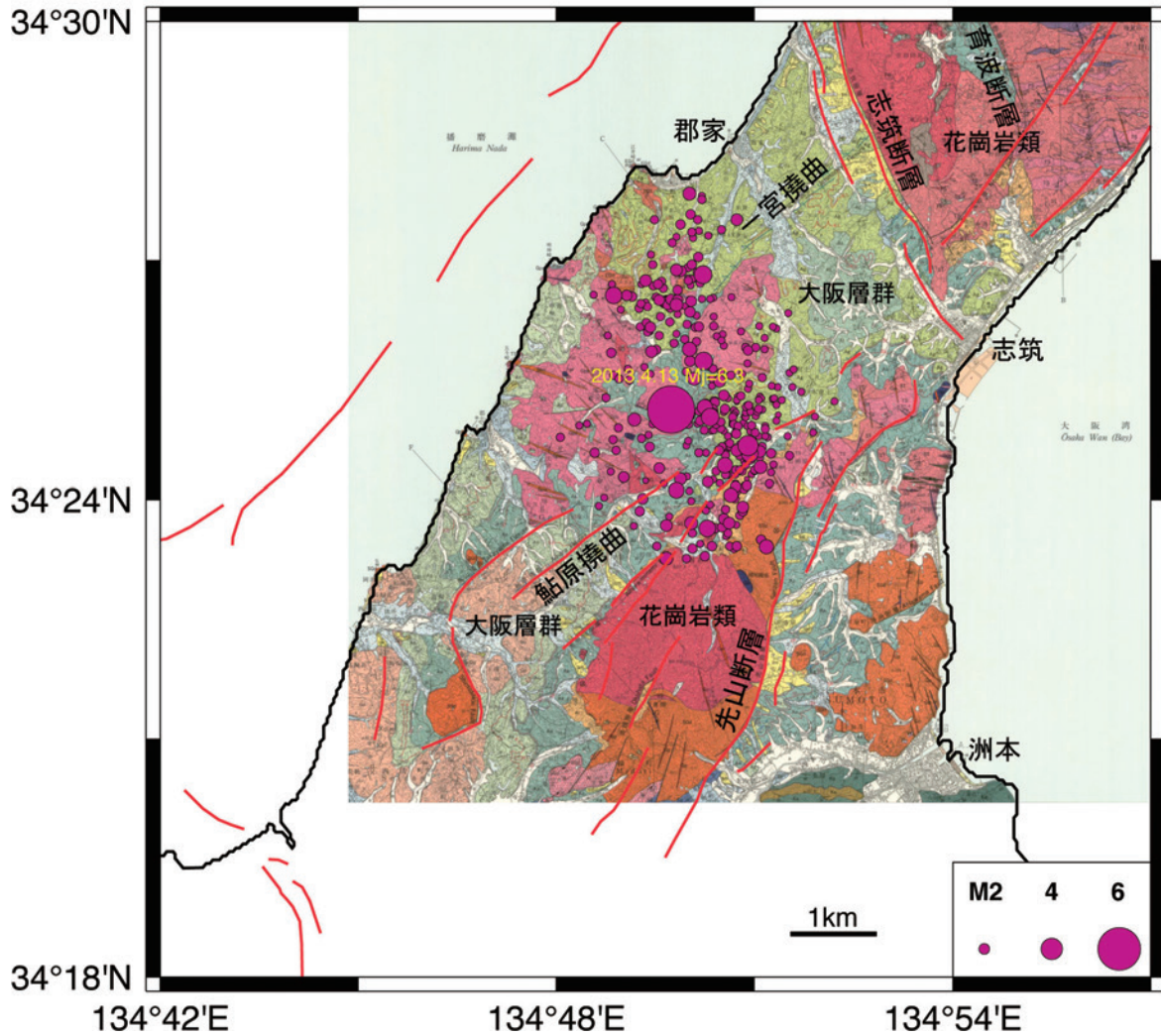
第1図には、産総研で発行している1/5万地質図<sup>1)</sup>に、今回の地震の本震の震央とおよその余震の分布を重ねたものを示す。震源域周辺には、基盤岩の花崗岩類と、それを覆って堆積した鮮新～更新統の大阪層群が分布している。周辺には志筑断層（しづきだんそう）や先山断層（せんざんだんそう）といった活断層が分布するが、志筑断層の断層面は北東に傾斜していると推定されているので、今回の震源とは位置が異なる。また先山断層についても、方向がやや異なるのと、断層位置が余震の分布よりもやや南になることから、先山断層そのものの活動ではないと推定される。

この地域に分布する大阪層群には、何枚かの火山灰層が挟まれており、その分布を詳細に調査することにより、大阪層群の地質構造は比較的良好にわかっている。第2図には大阪層群の分布と地質構造を示す。この図を見ると、余震の分布域には大阪層群を変位させるような断層は認められない。ただし、一宮撓曲と呼ばれる南東側が隆起する構造と、鮎原撓曲と呼ばれる北西側が隆起する構造とが余震域に沿って接しており、そこを境にねじれるように食い違っているのがわかる。したがって、明瞭な活断層ではないが、地質図からは今回の地震がこのような構造境界に関係している可能性を指摘することができる。

（吉岡敏和・岡村行信）

#### 参 考 文 献

- 1) 高橋 浩・寒川 旭・水野清秀・服部 仁, 1992, 洲本地域の地質, 地域地質研究報告 (5万分の1地質図幅), 産業技術総合研究所地質調査総合センター.



第 1 図 震源域周辺の地質図<sup>1)</sup>と震央位置.

震央は気象庁暫定震源 (2013/4/13 05:00 - 2013/4/13 24:00) による.

赤線は産総研活断層データベースに収録された活断層.

Fig. 1 Geological map around the epicentral area. Circles are tentative epicenters from 2013.04.13 05:00 to 2013.04.13 24:00 by JMA. Red lines are active faults showing on the Active Fault Database of Japan by AIST.



第2図 「洲本」図幅地域における断層・撓曲の分布と大阪層群の地質構造概念図<sup>1)</sup>。  
余震分布範囲を追記。

Fig. 2 Distribution of faults and flexures in the Sumoto district and geologic structure of the Osaka Group.